

一般会計は164億900万円

# 平成19年度当初予算

平成19年度当初予算の概要をお知らせします。

平成19年度の当初予算は164億9000万円、18年度6月補正予算後の金額と比較（当初予算が合併後間もないことから人件費、扶助費、公債費の義務的経費を中心とした骨格予算を編成したことから）すると、9億7,458万円、6・3割増加しています。

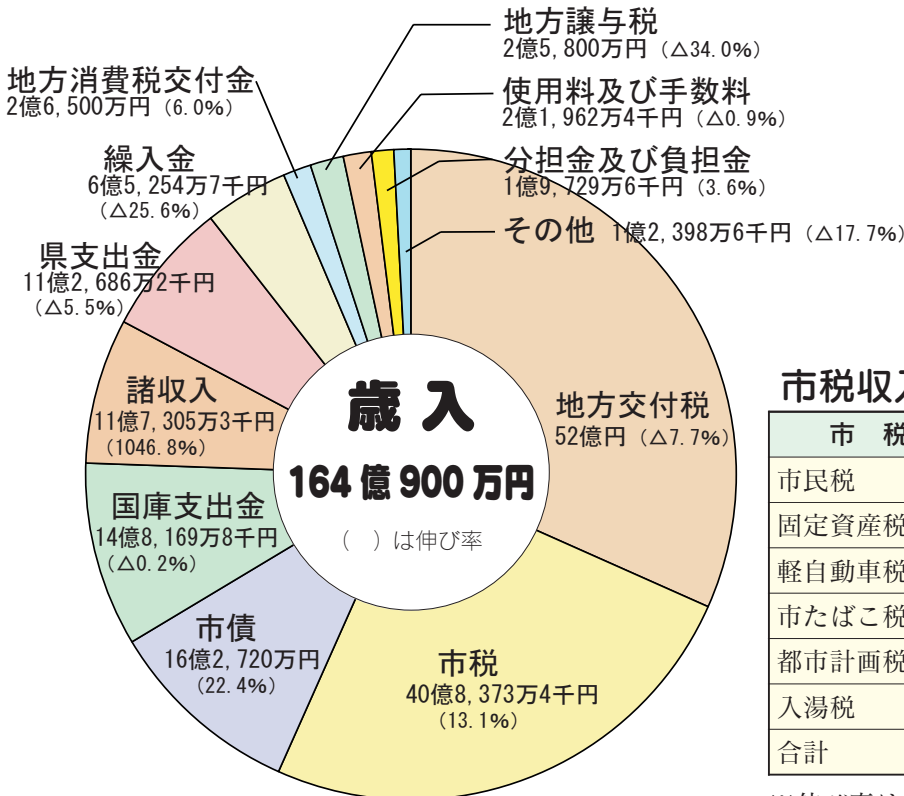
※以下、前年度予算と比較する場合は、平成18年6月補正後の予算と比較し記載しています。

ただし、この中には伊万里・北松広域市町村圏組合が平成18年度末をもって解散することから、この組合の清算事務を松浦市が引き継ぐ経費が含まれており、それを除くと実質的には153億4,595万円で、前年度と比べ0・6割減少した予算となっています。

平成19年度の当初予算編成では、大幅な財源不足が見込まれたことから、建設事業費の厳選、職員給与及び内部管理経費のカット等大幅な削減を行いました。しかし、それでも不足する5億5,600万円は、財政調整基金・減債基金及び特定目的金を取り崩して予算編成を行いました。

【用語の説明】

- ◆骨格予算：地方公共団体の長や議員の選挙時期などの関係から、政策的な判断ができていくなどの理由により、人件費など必要最小限度の経費を計上する予算。
- ◆扶助費：生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費。また、地方自治体独自の支出も含まれる。
- ◆公債費：各種事業を行うために借り入れたお金を返済する経費。
- ◆市債：各種事業を行うために借り入れるお金など。
- ◆財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための積立金（貯金）。



市税収入の内訳

(単位:千円、%)

市税	18年度予算	構成比	伸び率
市民税	935,634	22.9	29.7
固定資産税	2,929,849	71.8	9.3
軽自動車税	56,791	1.4	1.6
市たばこ税	159,921	3.9	5.5
都市計画税	201	0.0	0.0
入湯税	1,338	0.0	0.9
合計	4,083,734	100.0	13.1

※伸び率は、平成18年度当初予算が骨格予算を編成していたため、6月補正後の予算と比較しています。

一般会計

【歳入】

歳入の内訳では、地方交付税52億円（前年度比7・7%減）、市税40億8,373万4千円（同13・1%増）、市債16億2,720万円（同22・4%増）、国庫支出金14億8,169万8千円（同0・2%減）の順となっています。

市税収入は、前年度予算と比べて、4億7,297万円の増加を見込んでいます。これは、火力発電所の固定資産税が約1億1,000万円減少するものの、福島国家石油ガス備蓄基地の固定資産税が約3億7,800万円増加する見込みであること。また、所得税から住民税に約1億5,000万円が税源移譲されたことにより増加を見込んでいます。

その他の収入では、地方交付税は市税収入が伸びることから、減少を見込んでいます。市債は、合併した団体に発行が認められる合併特例債を活用して合併振興基金造成事業や市道整備事業を計画しており増加しています。また諸収入は、冒頭ふれた伊万里・北松広域市町村圏組合が解散することに伴う清算を松浦市が引き継ぐことになったため、同組合の決算見込み額10億6,305万円を一旦松浦市が受け入れて、伊万里市、平戸市などの構成団体に配分するため、大きく増加しています。

【歳出】

歳出の内訳（性質別）では、補助費等30億2,016万3千円（前年度比30・1%増）、人件費26億2,271万1千円（同4・4%減）、公債費25億5,708万1千円（同5・7%減）、扶助費25億1,179万2千円（同1・2%減）、物件費18億3,941万6千円（同5・5%増）の順となっています。

補助費等が増加した要因は、伊万里・北松広域市町村圏組合の解散に伴う構成市町への清算交付金を計上したことや北松北部環境組合負担金等が増加したためです。なお各種団体に対する運営費補助金は、当初予算では新市の行政改革実施計画等が現在策定中であることから、前年度までの実績等の約50%を目安に予算計上しています。今後、外部委員による「補助金等審査検討委員会」にも諮り、予算化等を決定する予定です。

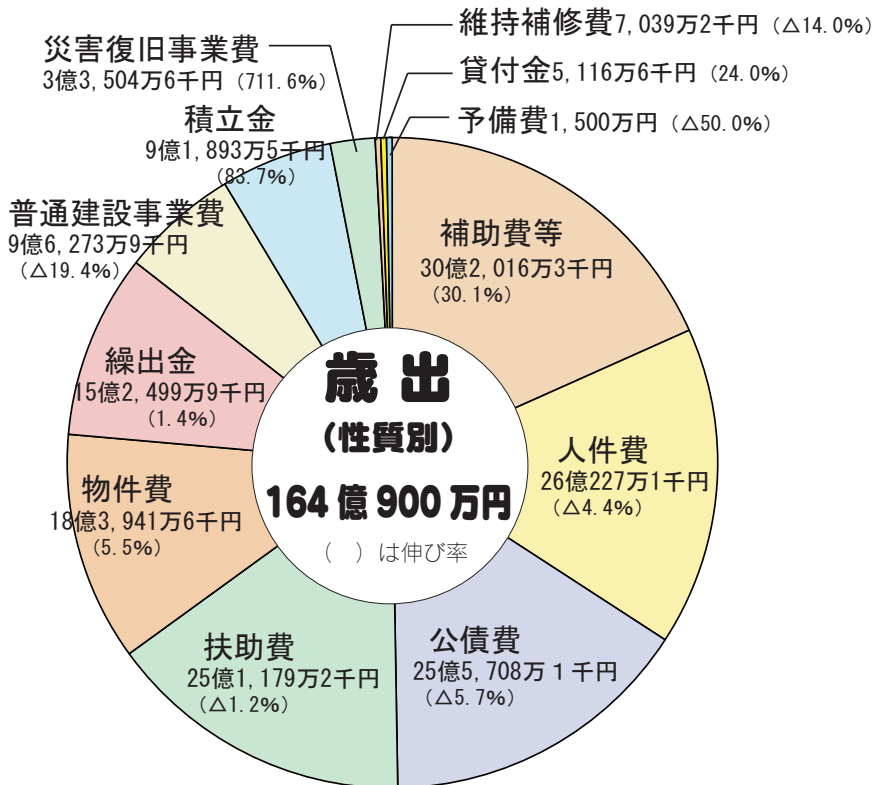
普通建設事業費は、18年度まで実施してきた鷹島の地域水産物供給基盤整備事業（消波堤設置）や飛島漁港防波堤建設事業が終了したことから大きく減少しています。

また目的別には、障害者・児童・老人等福祉費や生活保護費などを支出する民生費が42億8,101万5千円、広域圏組合の配分金等を支出する総務費が34億7,660万1千円、過去に借り入れた市債の返済を行う公債費25億5,708万1千円の順となっています。

歳出（目的別）

（単位：千円、%）

予算科目	19年度予算	構成比	伸び率
民生費	4,281,015	26.1	△0.7
総務費	3,476,601	21.2	45.7
公債費	2,557,081	15.6	△5.7
衛生費	1,588,541	9.7	11.7
土木費	1,084,491	6.6	7.8
農林水産業費	1,033,541	6.3	△22.9
教育費	969,189	5.9	△7.8
消防費	589,224	3.6	△4.9
災害復旧費	335,046	2.0	711.6
商工費	264,173	1.6	△9.5
議会費	162,379	1.0	△0.0
その他	67,719	0.4	△28.3
歳出合計	16,409,000	100.0	6.3



※伸び率は、平成18年度当初予算が骨格予算を編成していたため、6月補正後の予算と比較しています。